

放送朝会「情けは人の為ならず」9/7

先週から午後の授業が始まりましたが、まだまだ蒸し暑い日が続く中で、みなさんとても頑張っていると思います。さて、先週、「思いやり」についてお話をしました。覚えていますか？

たとえば、お友達が廊下を走っていて、目の前で転んだら、あなたなら、どうしますか、というお話をしました。

廊下を走ることは悪いことなので、助けないとか、自分で立ち上がった方が、その子の為になるので、助けないとか、そういう考え方もあります。それとも、手を差し伸べて、「大丈夫？」と優しく声をかけて、助けてあげますか。というお話でした。

少し難しい言葉ですが、「情けは人の為ならず」という言葉を聞いたことありますか？ どういう意味でしょう。

「人に思いやりを持って親切にすれば、その相手のためになるとともに、それが巡り巡って自分に戻ってくる」という意味です。「人に情けを掛けて助けてあげることは、結局はその人のためにならない」という意味ではありません。

もう一つ、海で誰かがおぼれていたら、どうしますか、というお話もしました。

溺れていたら、まず助けますね。でも、助かったね、よかったね、で終わりにしないでください。なぜ海に入ったのか、どうしてそのようなことになってしまったのか、どうしたら二度と繰り返さないか、起きてしまったことに、自分が気づき、自分がこうしようと考えるようにしてあげるのが、本当の思いやりです。

情けを掛けるというのは、単に助けてあげるということではなく、相手のことを考えて、どうしたらより良くなるのか、一緒に考えてあげることだと思います。

今日も少し難しいお話になってしまいましたが、お友だちが困っていたら、どうぞ助けてあげてください。それは、相手を甘やかすこととは違います。一緒に考えてあげてください。